

政策 8 「地球環境の保全」

政策 8 「地球環境の保全」は、県民、事業者、行政が一体となり、あらゆる活動において環境にできるだけ負荷をかけず、持続的に発展することができる地域社会づくりを目指す様々な施策で構成されている。

1. 政策 8 の認知度

1 1 一般県民

一般県民全体における高認知度群は 38.9%、低認知度群は 61.1%である。

一般県民における、性別、65 歳年齢区分別での高認知度群の割合は、性別では、男性（43.7%）が女性（34.3%）よりも高い。

65 歳年齢区分別では、65 歳以上（47.1%）が 65 歳未満（35.7%）よりも高い。

一般県民の圏域別での高認知度群の割合は、大崎圏域（45.2%）が、回答者全体と比較して 6.3 ポイント高い。

(%)

政策 8 認知度	高認知度群		小計	低認知度群		小計	計
	知っていた	ある程度知っていた		あまり知らなかった	知らなかった		
一般県民全体	3.6	35.3	38.9	49.5	11.6	61.1	100.0

性別	男性	4.8	38.9	43.7	45.7	10.7	56.4	100.0
	女性	2.5	31.8	34.3	53.3	12.4	65.7	100.0
年齢別	65 歳未満	2.9	32.8	35.7	51.1	13.2	64.3	100.0
	65 歳以上	5.4	41.7	47.1	45.8	7.1	52.9	100.0

圏域別	仙台	2.8	31.9	34.7	51.4	13.9	65.3	100.0
	仙南	3.0	32.0	35.0	51.5	13.4	64.9	100.0
	大崎	5.3	39.9	45.2	43.9	11.0	54.9	100.0
	栗原	4.6	39.2	43.8	45.0	11.2	56.2	100.0
	登米	2.3	38.0	40.3	49.5	10.2	59.7	100.0
	石巻	3.4	31.8	35.2	53.1	11.7	64.8	100.0
	気仙沼・本吉	3.3	33.1	36.4	53.1	10.6	63.7	100.0

有効回答者数 1,622 名

1 2 市町村職員・学識者等

市町村職員全体における高認知度群は 54.9%、低認知度群は 45.1%である。

市町村職員の圏域別での高認知度群の割合は、

回答者全体と比較して、栗原圏域（66.7%）が 11.8 ポイント、登米圏域（66.6%）が 11.7 ポイント高い。

学識等全体における高認知度群は 62.2%、低認知度群は 37.8%である。

(%)

政策 8 認知度	高認知度群		小計	低認知度群		小計	計
	知っていた	ある程度知っていた		あまり知らなかった	知らなかった		
市町村職員全体	9.8	45.1	54.9	40.5	4.6	45.1	100.0
圏 域 別	仙台	8.8	52.2	42.5	5.3	47.8	100.0
	仙南	11.1	53.7	42.6	3.7	46.3	100.0
	大崎	11.7	58.5	36.4	5.2	41.6	100.0
	栗原	0.0	66.7	33.3	0.0	33.3	100.0
	登米	8.3	66.6	25.0	8.3	33.3	100.0
	石巻	13.6	50.0	40.9	9.1	50.0	100.0
	気山沼・本吉	8.1	51.3	48.6	0.0	48.6	100.0

有効回答者数 326 名

学識者等全体	16.7	45.5	62.2	33.3	4.5	37.8	100.0
--------	------	------	------	------	-----	------	-------

有効回答者数 66 名

2. 政策 8 の関心度

1 1 一般県民

一般県民全体における高関心度群は 78.0%、低関心度群は 22.0%である。

一般県民における、性別、65 歳年齢区分別での高関心度群の割合は、

性別では、男性（79.0%）が女性（76.9%）よりも高い。

65 歳年齢区分別では、65 歳以上（82.8%）が 65 歳未満（76.3%）よりも高い。

一般県民の圏域別での高関心度群の割合は、

回答者全体と比較して、高関心度群の割合に 5 ポイント以上差がある圏域はない。

（%）

政策 8 関心度	高関心度群		小計	低関心度群		小計	計
	関心が あった	ある程度関 心があった		あまり関心 がなかった	関心が なかった		
一般県民全体	25.5	52.5	78.0	19.2	2.8	22.0	100.0

性別	男性	28.0	51.0	79.0	18.7	2.3	21.0	100.0
	女性	23.3	53.6	76.9	19.8	3.3	23.1	100.0
年齢別	65 歳未満	21.9	54.4	76.3	20.7	3.1	23.8	100.0
	65 歳以上	35.9	46.9	82.8	15.1	2.2	17.3	100.0

圏域別	仙台	27.1	53.2	80.3	17.4	2.3	19.7	100.0
	仙南	26.6	49.4	76.0	21.9	2.1	24.0	100.0
	大崎	29.3	52.2	81.5	15.1	3.4	18.5	100.0
	栗原	27.9	53.4	81.3	16.0	2.7	18.7	100.0
	登米	18.6	57.0	75.6	20.8	3.6	24.4	100.0
	石巻	22.3	53.3	75.6	22.8	1.6	24.4	100.0
	気山沼・本吉	26.5	49.4	75.9	20.1	4.0	24.1	100.0

有効回答者数 1,650 名

1 2 市町村職員・学識者等

市町村職員全体における高関心度群は 84.0%、低関心度群は 16.1%である。

市町村職員の圏域別での高関心度群の割合は、

回答者全体と比較して、登米圏域(100.0%)では 16.0 ポイント、仙南圏域(92.8%)では 8.8 ポイント高い。

回答者全体と比較して、仙台圏域(75.2%)では 8.8 ポイント、石巻圏域(78.3%)では 5.7 ポイント低い。

学識等全体における高関心度群は 95.5%、低関心度群は 4.5%である。

(%)

政策 8 関心度	高関心度群		小計	低関心度群		小計	計	
	関心が あった	ある程度関 心があった		あまり関心 がなかった	関心が なかった			
市町村職員全体	28.9	55.1	84.0	14.6	1.5	16.1	100.0	
圏 域 別	仙台	29.9	45.3	75.2	23.9	0.9	24.8	100.0
	仙南	33.9	58.9	92.8	7.1	0.0	7.1	100.0
	大崎	30.4	57.0	87.4	10.1	2.5	12.6	100.0
	栗原	16.7	66.7	83.4	16.7	0.0	16.7	100.0
	登米	16.7	83.3	100.0	0.0	0.0	0.0	100.0
	石巻	34.8	43.5	78.3	13.0	8.7	21.7	100.0
	気山沼・本吉	13.2	73.7	86.9	13.2	0.0	13.2	100.0

有効回答者数 336 名

学識者等全体	39.4	56.1	95.5	4.5	0.0	4.5	100.0
--------	------	------	------	-----	-----	-----	-------

有効回答者数 66 名

3. 政策 8 の重視度・満足度

3-1 回答者全体

一般県民の、回答者全体での重視度・満足度は以下の通りである。
重視度の中央値は 80.0 点で、県民は「重要である」と考えていることが分かる。
満足度の中央値は 50.0 点で、県民は「やや不満である」と考えていることが分かる。
重視度と満足度の中央値の差は 30.0 点で、かい離度は「大」である。
重視度と満足度の回答者全体の分布の形は、分布関数より、「中央値は異なるがほぼ同型である」といえる。
「ある程度重要と認めつつ現状にあまり満足していない」要検討領域の回答者全体の割合は、分布関数より 43.0%と推定できる。

市町村職員の、回答者全体での重視度・満足度は以下の通りである。
重視度の中央値は 80.0 点で、県民は「重要である」と考えていることが分かる。
満足度の中央値は 55.0 点で、県民は「やや不満である」と考えていることが分かる。
重視度と満足度の中央値の差は 25.0 点で、かい離度は「大」である。
重視度と満足度の回答者全体の分布の形は、分布関数より、「中央値は異なるがほぼ同型である」といえる。
「ある程度重要と認めつつ現状にあまり満足していない」要検討領域の回答者全体の割合は、分布関数より 45.3%と推定できる。

学識者等の、回答者全体での重視度・満足度は以下の通りである。
重視度の中央値は 80.0 点で、県民は「重要である」と考えていることが分かる。
満足度の中央値は 60.0 点で、県民は「ある程度満足している」と考えていることが分かる。
重視度と満足度の中央値の差は 20.0 点で、かい離度は「大」である。
重視度と満足度の回答者全体の分布の形は、分布関数より、「中央値は異なるがほぼ同型である」といえる。
「ある程度重要と認めつつ現状にあまり満足していない」要検討領域の回答者全体の割合は、分布関数より 45.5%と推定できる。

【一般県民】

中央値、第1四分位数、第3四分位数の値(点)

	重視度	満足度	かい離
中央値	80.0	50.0	30.0
第1四分位数(25パーセントイル)	65.0	40.0	25.0
第3四分位数(75パーセントイル)	90.0	60.0	30.0

要検討領域にある回答者全体の割合(推定)(%)

	回答者全体	
重視度 60点未満の割合(60点以上の割合)	14.0	(86.0)
満足度 60点未満の割合		57.0
要検討領域にある回答者全体の割合		43.0

有効回答者数；重視度 1,649人、満足度 1,626人

(一般県民)回答者全体の重視度・満足度基本統計量

		政策8重視度	政策8満足度
度数	有効	1649	1626
	欠損値	72	95
平均値		75.07	52.04
平均値の標準誤差		.419	.425
中央値		80.00	50.00
最頻値		80	50
標準偏差		17.028	17.136
分散		289.968	293.647
範囲		100	100
最小値		0	0
最大値		100	100
パーセントイル	25	65.00	40.00
	40	70.00	50.00
	50	80.00	50.00
	60	80.00	60.00
	75	90.00	60.00

【市町村職員】

中央値、第1四分位数、第3四分位数の値(点)

	重視度	満足度	かい離
中央値	80.0	55.0	25.0
第1四分位数(25パーセントイル)	70.0	45.0	25.0
第3四分位数(75パーセントイル)	90.0	65.0	25.0

要検討領域にある回答者全体の割合(推定)(%)

	回答者全体	
重視度 60点未満の割合(60点以上の割合)	9.2	(90.8)
満足度 60点未満の割合		54.5
要検討領域にある回答者全体の割合		45.3

有効回答者数；重視度 337人、満足度 336人

(市町村)回答者全体の重視度・満足度基本統計量

		政策8重視度	政策8満足度
度数	有効	337	336
	欠損値	1	2
平均値		78.07	53.68
平均値の標準誤差		.875	.884
中央値		80.00	55.00
最頻値		80	50
標準偏差		16.068	16.202
分散		258.173	262.494
範囲		90	90
最小値		10	10
最大値		100	100
パーセントイル	25	70.00	45.00
	40	75.00	50.00
	50	80.00	55.00
	60	80.00	60.00
	75	90.00	65.00

【学識者等】

中央値、第1四分位数、第3四分位数の値(点)

	重視度	満足度	かい離
中央値	80.0	60.0	20.0
第1四分位数(25パーセントイル)	70.0	50.0	20.0
第3四分位数(75パーセントイル)	90.0	60.0	30.0

要検討領域にある回答者全体の割合(推定)(%)

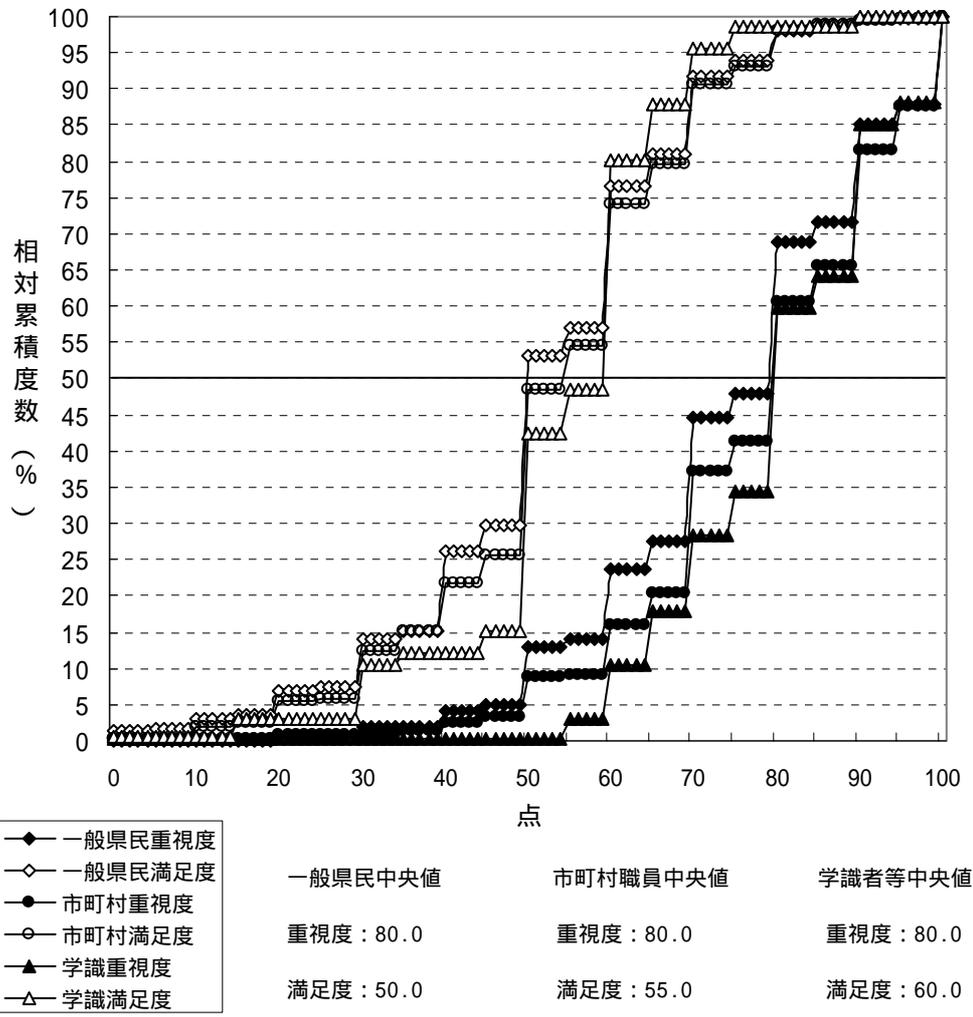
	回答者全体	
重視度 60点未満の割合(60点以上の割合)	3.0	(97.0)
満足度 60点未満の割合		48.5
要検討領域にある回答者全体の割合		45.5

有効回答者数；重視度 67人、満足度 66人

(学識者等)回答者全体の重視度・満足度基本統計量

		政策8重視度	政策8満足度
度数	有効	67	66
	欠損値	2	3
平均値		80.45	54.55
平均値の標準誤差		1.525	1.640
中央値		80.00	60.00
最頻値		80	60
標準偏差		12.484	13.322
分散		155.857	177.483
範囲		45	75
最小値		55	15
最大値		100	90
パーセントイル	25	70.00	50.00
	40	80.00	50.00
	50	80.00	60.00
	60	84.00	60.00
	75	90.00	60.00

「政策8 地球環境の保全」



3 2 性別・年齢区分別（一般県民）

一般県民における、性別、65歳年齢区分別における重視度・満足度は以下の通りである。

3 2 - 1 性別

重視度の中央値は、女性（80.0点）が男性（75.0点）よりも高い。

満足度の中央値は、男性女性ともに50.0点で同じである。

重視度と満足度の中央値の差は、女性（30.0点）が男性（25.0点）よりも大きい。

重視度の四分位偏差は、男性（15.0点）が女性（12.5点）よりも大きい。

満足度の四分位偏差は、男性女性ともに10.0点で同じである。

「ある程度重要と認めつつ現状にあまり満足していない」要検討領域の回答者全体の割合は、分布関数より、男性45.5%、女性40.7%と推定できる。

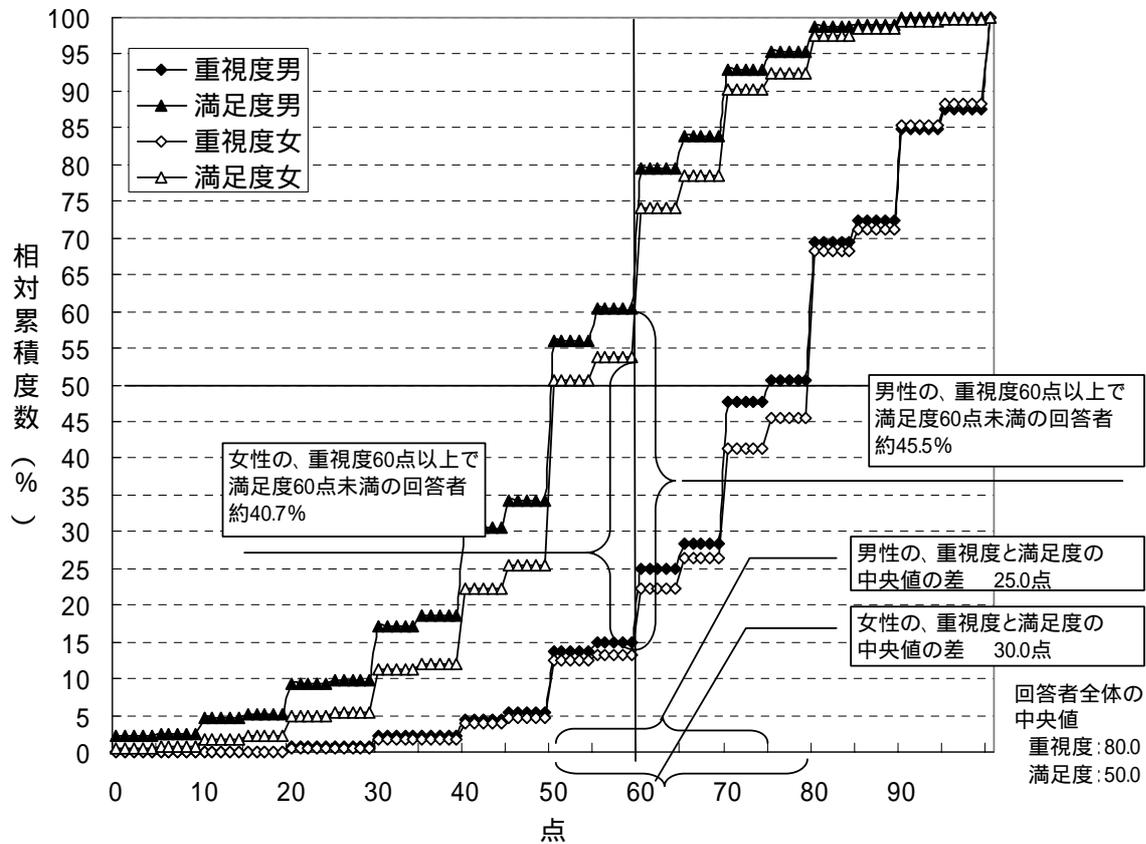
中央値、第1四分位数、第3四分位数、四分位偏差の値（点）

		回答者全体	男性	女性
中央値	重視度	80.0	75.0	80.0
	満足度	50.0	50.0	50.0
	かい離	30.0	25.0	30.0
第1四分位数 (25パーセントイル)	重視度	65.0	60.0	65.0
	満足度	40.0	40.0	45.0
	かい離	25.0	20.0	20.0
第3四分位数 (75パーセントイル)	重視度	90.0	90.0	90.0
	満足度	60.0	60.0	65.0
	かい離	30.0	30.0	25.0
四分位偏差 (第3四分位数-第1四分位数)/2	重視度	12.5	15.0	12.5
	満足度	10.0	10.0	10.0

要検討領域にある回答者全体の割合（推定）（%）

	男性	女性
重視度 60点未満の割合(60点以上の割合)	15.0 (85.0)	13.2 (86.8)
満足度 60点未満の割合	60.5	53.9
要検討領域にある回答者全体の割合	45.5	40.7

(一般県民)男性と女性の重視度と満足度



(一般県民)男性の重視度・満足度基本統計量

		政策8重視度	政策8満足度
度数	有効	775	770
	欠損値	28	33
平均値		74.48	50.03
平均値の標準誤差		.622	.644
中央値		75.00	50.00
最頻値		70	50
標準偏差		17.321	17.869
分散		300.017	319.310
範囲		85	100
最小値		15	0
最大値		100	100
パーセントイル	25	60.00	40.00
	40	70.00	50.00
	50	75.00	50.00
	60	80.00	55.00
	75	90.00	60.00

(一般県民)女性の重視度・満足度基本統計量

		政策8重視度	政策8満足度
度数	有効	855	838
	欠損値	41	58
平均値		75.63	53.89
平均値の標準誤差		.574	.562
中央値		80.00	50.00
最頻値		80	50
標準偏差		16.792	16.265
分散		281.956	264.538
範囲		100	100
最小値		0	0
最大値		100	100
パーセントイル	25	65.00	45.00
	40	70.00	50.00
	50	80.00	50.00
	60	80.00	60.00
	75	90.00	65.00

3 2 - 2 65 歳年齢区分別

重視度の中央値は、65 歳未満、65 歳以上ともに 80.0 点で同じである。

満足度の中央値は、65 歳未満（50.0 点）が 65 歳以上（55.0 点）よりも低い。

重視度と満足度の中央値の差は、65 歳未満（30.0 点）が 65 歳以上（25.0 点）よりも大きい。

重視度の四分位偏差は、65 歳未満、65 歳以上ともに 12.5 点で同じである。

満足度の四分位偏差は、65 歳未満、65 歳以上ともに 10.0 点で同じである。

「ある程度重要と認めつつ現状にあまり満足していない」要検討領域の回答者全体の割合は、分布関数より、65 歳未満 44.2%、65 歳以上 39.5%と推定できる。

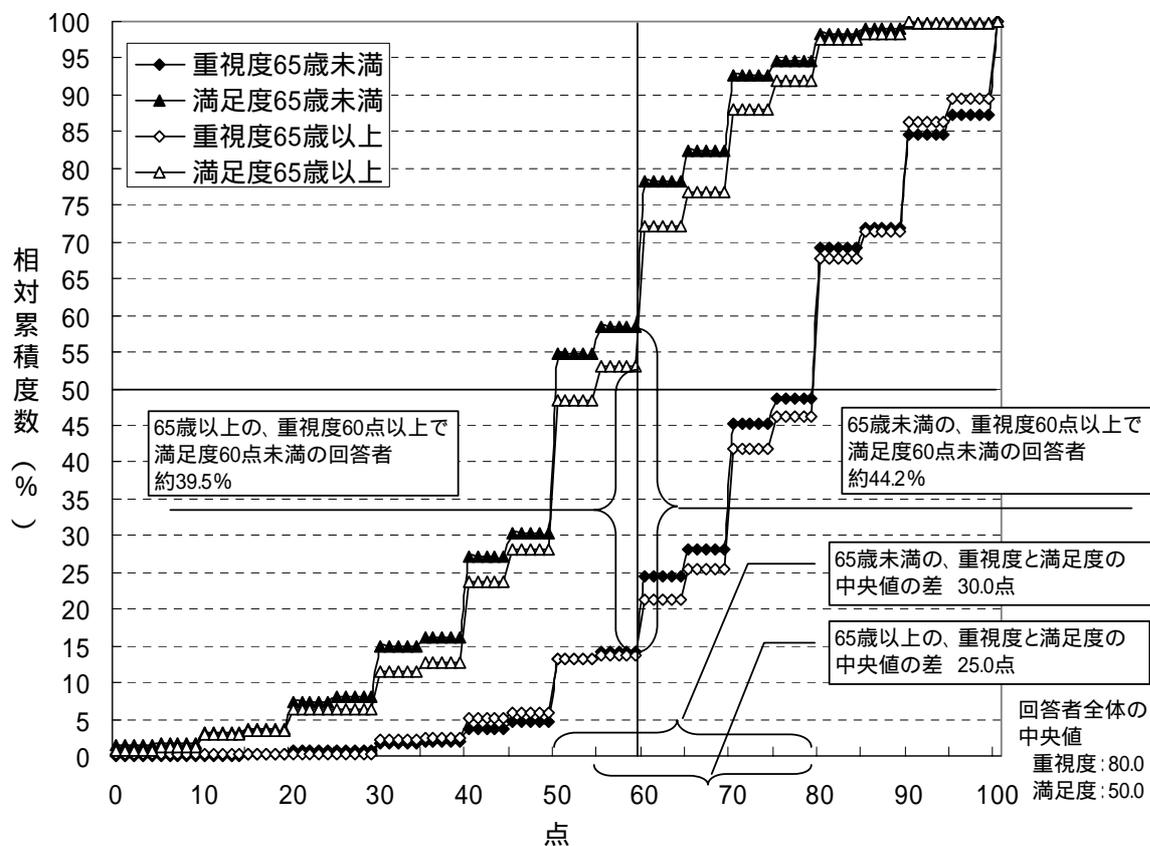
中央値、第 1 四分位数、第 3 四分位数、四分位偏差の値（点）

		回答者全体	65 歳未満	65 歳以上
中央値	重視度	80.0	80.0	80.0
	満足度	50.0	50.0	55.0
	かい離	30.0	30.0	25.0
第 1 四分位数 (25パーセンタイル)	重視度	65.0	65.0	65.0
	満足度	40.0	40.0	45.0
	かい離	25.0	25.0	20.0
第 3 四分位数 (75パーセンタイル)	重視度	90.0	90.0	90.0
	満足度	60.0	60.0	65.0
	かい離	30.0	30.0	25.0
四分位偏差 (第 3 四分位数 - 第 1 四分位数) / 2	重視度	12.5	12.5	12.5
	満足度	10.0	10.0	10.0

要検討領域にある回答者全体の割合（推定）（%）

	65 歳未満	65 歳以上
重視度 60 点未満の割合(60 点以上の割合)	14.2 (85.8)	13.6 (86.4)
満足度 60 点未満の割合	58.4	53.1
要検討領域にある回答者全体の割合	44.2	39.5

(一般県民)65歳未満と65歳以上の重視度と満足度



(一般県民)65歳未満の重視度・満足度基本統計量

		政策8重視度	政策8満足度
度数	有効	1203	1192
	欠損値	37	48
平均値		74.96	51.42
平均値の標準誤差		.494	.496
中央値		80.00	50.00
最頻値		80	50
標準偏差		17.133	17.121
分散		293.551	293.127
範囲		100	100
最小値		0	0
最大値		100	100
パーセンタイル	25	65.00	40.00
	40	70.00	50.00
	50	80.00	50.00
	60	80.00	60.00
	75	90.00	60.00

(一般県民)65歳以上の重視度・満足度基本統計量

		政策8重視度	政策8満足度
度数	有効	425	414
	欠損値	32	43
平均値		75.38	53.85
平均値の標準誤差		.817	.844
中央値		80.00	55.00
最頻値		80	50
標準偏差		16.850	17.179
分散		283.938	295.109
範囲		80	90
最小値		20	0
最大値		100	90
パーセンタイル	25	65.00	45.00
	40	70.00	50.00
	50	80.00	55.00
	60	80.00	60.00
	75	90.00	65.00

3 3 圏域別 (一般県民、市町村職員)

一般県民の、圏域別における重視度・満足度は以下の通りである。

重視度の中央値は、仙台圏域(75.0 点)、仙南圏域(75.0 点)の 2 圏域が回答者全体(80.0 点) よりも 5 ポイント低い。

満足度の中央値は、登米圏域(57.5 点) が回答者全体(50.0 点) よりも 7.5 ポイント、大崎圏域(55.0 点)、栗原圏域(55.0 点)、石巻圏域(55.0 点)の 3 圏域が 5 ポイント高い。

重視度の四分位偏差は、登米圏域(15.0 点) が回答者全体(12.5 点) よりも大きく、栗原圏域(10.0 点) が小さい。

満足度の四分位偏差は、栗原圏域(12.5 点) が回答者全体(10.0 点) よりも大きく、登米圏域(7.5 点)、石巻圏域(7.5 点) が小さい。

市町村職員の、圏域別における重視度・満足度は以下の通りである。

重視度の中央値は、栗原圏域(90.0 点) が回答者全体(80.0 点) よりも 10 ポイント高く、気仙沼・本吉圏域(72.5 点) が 7.5 ポイント、登米圏域(75.0 点) が 5 ポイント低い。

満足度の中央値は、大崎圏域(60.0 点) が回答者全体(55.0 点) よりも 5 ポイント高く、仙南圏域(50.0 点)、石巻圏域(50.0 点)の 2 圏域が 5 ポイント低い。

重視度の四分位偏差は、栗原圏域(12.5 点)、気仙沼・本吉圏域(10.5 点)の 2 圏域が回答者全体(10.0 点) よりも大きく、登米圏域(5.0 点) が小さい。

満足度の四分位偏差は、石巻圏域(12.5 点)、登米圏域(10.6 点)の 2 圏域が回答者全体(10.0 点) よりも大きく、仙台圏域(7.5 点) が小さい。

【一般県民】

中央値、第 1 四分位、第 3 四分位、四分位偏差の値 (点)

		回答者 全体	仙台	仙南	大崎	栗原	登米	石巻	気仙沼 ・本吉
中央値	重視度	80.0	75.0	75.0	80.0	80.0	80.0	80.0	80.0
	満足度	50.0	50.0	50.0	55.0	55.0	57.5	55.0	50.0
	かい離	30.0	25.0	25.0	25.0	25.0	22.5	25.0	30.0
第1四分位数 (25パーセント)	重視度	65.0	65.0	65.0	65.0	70.0	60.0	65.0	65.0
	満足度	40.0	40.0	40.0	45.0	40.0	50.0	50.0	40.0
	かい離	25.0	25.0	25.0	20.0	30.0	10.0	15.0	25.0
第3四分位数 (75パーセント)	重視度	90.0	90.0	90.0	90.0	90.0	90.0	90.0	90.0
	満足度	60.0	60.0	60.0	65.0	65.0	65.0	65.0	60.0
	かい離	30.0	30.0	30.0	25.0	25.0	25.0	25.0	30.0
四分位偏差 (第3四分位数 第1四分位数) / 2	重視度	12.5	12.5	12.5	12.5	10.0	15.0	12.5	12.5
	満足度	10.0	10.0	10.0	10.0	12.5	7.5	7.5	10.0

【市町村職員】

中央値、第 1 四分位、第 3 四分位、四分位偏差の値 (点)

		回答者 全体	仙台	仙南	大崎	栗原	登米	石巻	気仙沼 ・本吉
中央値	重視度	80.0	80.0	80.0	80.0	90.0	75.0	80.0	72.5
	満足度	55.0	55.0	50.0	60.0	55.0	55.0	50.0	55.0
	かい離	25.0	25.0	30.0	20.0	35.0	20.0	30.0	17.5
第1四分位数 (25パーセント)	重視度	70.0	70.0	70.0	70.0	65.0	70.0	70.0	70.0
	満足度	45.0	50.0	40.0	50.0	50.0	46.3	35.0	40.0
	かい離	25.0	20.0	30.0	20.0	15.0	23.8	35.0	30.0
第3四分位数 (75パーセント)	重視度	90.0	90.0	90.0	90.0	90.0	80.0	90.0	91.0
	満足度	65.0	65.0	60.0	70.0	70.0	67.5	60.0	60.0
	かい離	25.0	25.0	30.0	20.0	20.0	12.5	30.0	31.0
四分位偏差 (第3四分位数 第1四分位数) / 2	重視度	10.0	10.0	10.0	10.0	12.5	5.0	10.0	10.5
	満足度	10.0	7.5	10.0	10.0	10.0	10.6	12.5	10.0

4. 政策 8 各施策の優先度

各施策の優先度は以下の通りである。

回答者全体での各施策の優先度

一般県民では、

第 1 位は施策 1 「地球温暖化の原因となる二酸化炭素等の削減」(26.5%)である。

第 2 位は施策 6 「環境に配慮した生活様式，事業活動の促進」(24.1%)である。

第 3 位は施策 2 「新エネルギー等の導入促進」(18.4%)である。

市町村職員では、

第 1 位は施策 6 「環境に配慮した生活様式，事業活動の促進」(23.7%)である。

第 2 位は施策 1 「地球温暖化の原因となる二酸化炭素等の削減」(22.8%)である。

第 3 位は施策 5 「環境教育の推進、環境情報の提供」(22.6%)である。

学識者では、

第 1 位は施策 6 「環境に配慮した生活様式，事業活動の促進」(38.2%)である。

第 2 位は施策 1 「地球温暖化の原因となる二酸化炭素等の削減」(25.0%)である。

第 3 位は施策 2 「新エネルギー等の導入促進」(14.7%)と施策 5 「環境教育の推進、環境情報の提供」(14.7%)である(施策 2 と施策 5 が共に第 3 位になっている)。

性別

一般県民では、

性別では、第 1 位から第 2 位まで、回答者全体と同じである。

第 3 位は、男性では施策 2 「新エネルギー等の導入促進」、女性では施策 5 「環境教育の推進、環境情報の提供」である。

65 歳年齢区分別

一般県民では、

第 1 位は、65 歳未満では施策 6 「環境に配慮した生活様式，事業活動の促進」、65 歳以上では施策 1 「地球温暖化の原因となる二酸化炭素等の削減」である。

第 2 位は、65 歳未満では施策 1 「地球温暖化の原因となる二酸化炭素等の削減」、65 歳以上では施策 6 「環境に配慮した生活様式，事業活動の促進」である。

第 3 位は、65 歳未満 65 歳以上とも施策 2 「新エネルギー等の導入促進」である。

圏域別

一般県民では、

第 1 位は、仙台、仙南、大崎、栗原の 4 圏域では施策 1 「地球温暖化の原因となる二酸化炭素等の削減」、登米、石巻、気仙沼・本吉の 3 圏域では施策 6 「環境に配慮した生活様式，事業活動の促進」である。

第 2 位は、仙台、仙南、大崎、栗原の 4 圏域では施策 6 「環境に配慮した生活様式，事業活動の促進」、登米、石巻、気仙沼・本吉の 3 圏域では施策 1 「地球温暖化の原因となる二酸化炭素等の削減」である。

第 3 位は、仙南、大崎、栗原、登米、石巻の 5 圏域では施策 2 「新エネルギー等の導入促進」、仙台、栗原、気仙沼・本吉の 3 圏域では 5 「環境教育の推進、環境情報の提供」である（栗原圏域では、施策 2 と施策 5 が共に第 3 位になっている）。

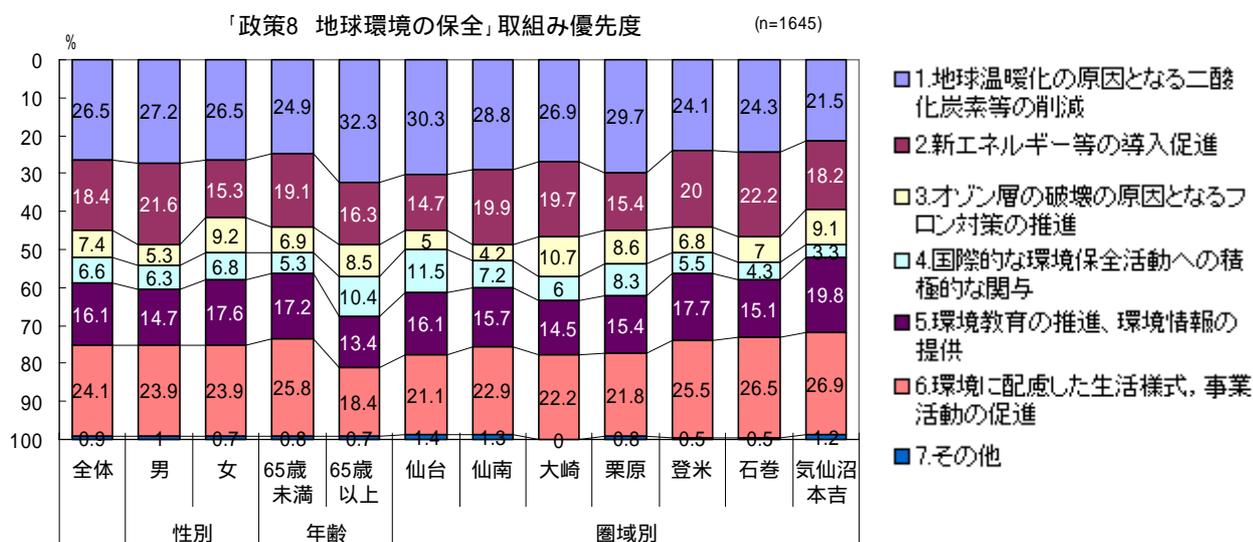
市町村職員では、

第 1 位は、大崎、栗原、登米の 3 圏域では施策 5 「環境教育の推進、環境情報の提供」、仙台、仙南の 2 圏域では施策 1 「地球温暖化の原因となる二酸化炭素等の削減」、登米圏域では施策 6 「環境に配慮した生活様式，事業活動の促進」、気仙沼・本吉圏域では施策 2 「新エネルギー等の導入促進」である（登米圏域では施策 5 と施策 6 が共に第 1 位になっている）。

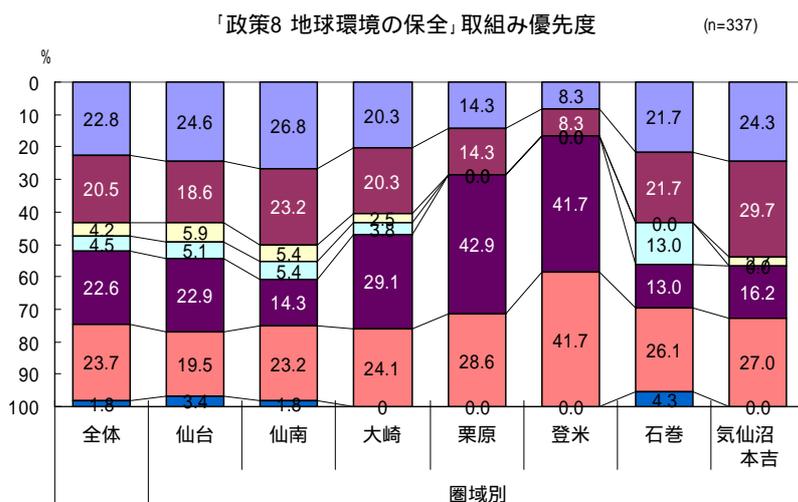
第 2 位は、仙南、大崎、栗原、気仙沼・本吉の 4 圏域では施策 6 「環境に配慮した生活様式，事業活動の促進」、仙台圏域では施策 5 「環境教育の推進、環境情報の提供」、石巻圏域では施策 1 「地球温暖化の原因となる二酸化炭素等の削減」と施策 2 「新エネルギー等の導入促進」である（石巻圏域では施策 1 と施策 2 が共に第 2 位になっている）。

第 3 位は、大崎、栗原、登米、気仙沼・本吉の 4 圏域では施策 1 「地球温暖化の原因となる二酸化炭素等の削減」、大崎、栗原、登米の 3 圏域では施策 2 「新エネルギー等の導入促進」、仙台、仙南の 2 圏域では施策 6 「環境に配慮した生活様式，事業活動の促進」である（大崎圏域では施策 1 と施策 2、栗原圏域では施策 1 と施策 2、登米圏域では施策 1 と施策 2 が共に第 3 位になっている）。

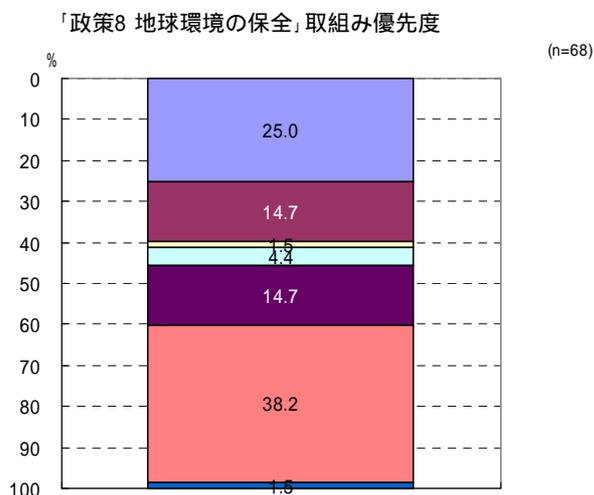
【一般県民】



【市町村職員】



【学識者等】



政策 8 「地球環境の保全」

【一般県民】

(%)

施策番号	取組(施策)名	全体	性別		年齢		圏域別						
			男	女	65歳未満	65歳以上	仙台	仙南	大崎	栗原	登米	石巻	気仙沼・本吉
1	1.地球温暖化の原因となる二酸化炭素等の削減	26.5	27.2	26.5	24.9	32.3	30.3	28.8	26.9	29.7	24.1	24.3	21.5
2	2.新エネルギー等の導入促進	18.4	21.6	15.3	19.1	16.3	14.7	19.9	19.7	15.4	20.0	22.2	18.2
3	3.オゾン層の破壊の原因となるフロン対策の推進	7.4	5.3	9.2	6.9	8.5	5.0	4.2	10.7	8.6	6.8	7.0	9.1
4	4.国際的な環境保全活動への積極的な関与	6.6	6.3	6.8	5.3	10.4	11.5	7.2	6.0	8.3	5.5	4.3	3.3
5	5.環境教育の推進、環境情報の提供	16.1	14.7	17.6	17.2	13.4	16.1	15.7	14.5	15.4	17.7	15.1	19.8
6	6.環境に配慮した生活様式、事業活動の促進	24.1	23.9	23.9	25.8	18.4	21.1	22.9	22.2	21.8	25.5	26.5	26.9
7	7.その他	0.9	1.0	0.7	0.8	0.7	1.4	1.3	0.0	0.8	0.5	0.5	1.2

【市町村職員】

(%)

施策番号	取組(施策)名	全体	圏域別						
			仙台	仙南	大崎	栗原	登米	石巻	気仙沼・本吉
1	1.地球温暖化の原因となる二酸化炭素等の削減	22.8	24.6	26.8	20.3	14.3	8.3	21.7	24.3
2	2.新エネルギー等の導入促進	20.5	18.6	23.2	20.3	14.3	8.3	21.7	29.7
3	3.オゾン層の破壊の原因となるフロン対策の推進	4.2	5.9	5.4	2.5	0.0	0.0	0.0	2.7
4	4.国際的な環境保全活動への積極的な関与	4.5	5.1	5.4	3.8	0.0	0.0	13.0	0.0
5	5.環境教育の推進、環境情報の提供	22.6	22.9	14.3	29.1	42.9	41.7	13.0	16.2
6	6.環境に配慮した生活様式、事業活動の促進	23.7	19.5	23.2	24.1	28.6	41.7	26.1	27.0
7	7.その他	1.8	3.4	1.8	0.0	0.0	0.0	4.3	0.0

【学識者等】

(%)

施策番号	取組(施策)名	全体
1	1.地球温暖化の原因となる二酸化炭素等の削減	25.0
2	2.新エネルギー等の導入促進	14.7
3	3.オゾン層の破壊の原因となるフロン対策の推進	1.5
4	4.国際的な環境保全活動への積極的な関与	4.4
5	5.環境教育の推進、環境情報の提供	14.7
6	6.環境に配慮した生活様式、事業活動の促進	38.2
7	7.その他	1.5

